

令和4年度 学校自己評価中間報告書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取り組み	主担当	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果・課題)及び後期の扱い	中間評価
1 授業実践力の向上 (授業改善・ICT活用)	全職員が研究授業を行い、各部ごとで整理会を行うことで「児童生徒の特性を踏まえた上での主体性を引き出すための手立て・工夫」についてまとめ、共有することで授業改善につなげていく。	教務課	授業改善に取り組めた教員の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	授業改善に取り組めた教員の割合が10月現在で 85%であった。	一人1回以上研究授業を行うということで、「それぞれの生徒の特性を生かす取り組み」や「主体性を引き出す手立て・工夫」についての意識が高まっている。ただ、10月現在研究授業を行っていない教員もいるため、後期には全員が授業してもらえるようにしたい。また、各部で研究授業をした後で授業シートを回覧し、全体に広めるような取り組みをしていきたい。	B
2 組織的・系統的なキャリア教育 (家庭との連携)	児童生徒が家庭での自分の役割をもち、それを継続して行うことができる。	自立・進路課 各学部	家庭での自分の役割について、別途指定する一週間のうち、4日間以上取り組めた児童生徒の割合が A：70%以上である。 B：60%以上である。 C：50%以上である。 D：50%未満である。	家庭での自分の役割について、別途指定する一週間のうち、4日間以上取り組めた児童生徒は 小学部：3人 中学部：0人 高等部：12人 計15人 であり、全校児童生徒の54%となった。	前期の取組として、保護者懇談時に「おうちチャレンジカード(歯磨きカレンダー)」の主旨について担任から説明をしながら、学校、保護者間で連携しながら取組を行ったが、まだまだ取組の理解、定着につなげていない部分も見られる。今後は年末の保護者懇談にも丁寧な説明を行いながら、後期の取組を進めたい。	C
3 安心・安全な学校づくり	避難訓練(火災・地震・津波)や珠洲分校版シェイクアウト訓練を実施することで日常の防災意識を高める。	生活支援課	安心・安全に関する取り組みの実回数 A：9回以上 B：7回以上 C：6回以下 D：3回以下	避難訓練、シェイクアウト石川、ミニシェイクアウト等の取り組みを5回行った。	警察や消防との連携協力をしながら、ただこなすだけの取り組みにならないよう防災意識を高める工夫を行った。学校の安心安全にかかわる訓練を毎年行っているが今年も去年と同じという感じにならないよう、実際に起こっている事故や火災の現状や身近な珠洲の地震などにも触れていくことが必要だと考えている。	C
4 業務の効率化	児童生徒の支援に関わる情報の共通理解、業務の分担の推進など、個々の目標を立てるとともに、それらを共有化することにより業務の効率化を図る。	全職員	改善の取り組み目標に達成した教員の割合が、 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	目標に対し、「よくできた」「まあまあできた」といた教員の割合が、94%であった。	それぞれの自己目標に対し、前期は十分に組み立てていると判断する。また、それぞれに取り組んだ内容について評価を行い、どのような効率化が図られたかを共有することができた。前期の段階で、Aとなり目標が達成されたため、後期は、それぞれで自己目標を設定する際に、共有された効率化の内容を自己の業務に取り入れ効率化や改善に取り組んでいきたい。	A

